

セイタカシギ（セイタカシギ科） 全長37センチ

5月5日、旧仙北町高梨地区の田んぼで、針金のように細くて長い脚の鳥が見つかった。セイタカシギが10羽。広い田んぼの中を歩き回り餌を探していた。

水が入っている田んぼは他に見当たらないことから、渡りの途中に降り立ったのでしょう。まだ代掻き前であるが、柔らかい土は昆虫などの餌が探しやすいのでしょう。

極端に長い脚は、水が張られた田んぼを歩くには丁度良いようだ。長い脚は歩幅も大きく、のっしのっしと足早に進みます。到着して間もないでしょうが、警戒心があまり感じられません。車で農道を静かに移動しながらかなりの近距離まで進んでも飛び立つこともなく、じっくりと撮影できました。



奥羽山脈の真昼岳を背景に絵になる写真

同じ田んぼにはタカブシギも見え、どちらも目にする機会の少ない野鳥です。毎日通い撮影を続けたが、4日後にはついに大型トラクターの代掻き作業が始まった。

セイタカシギの群れは、ついに次の目的地に向かって飛び立っていったのでしょう。周辺の田んぼを探し回っても見つかりませんでした。



水面に写ったセイタカシギ



長い脚は何頭身？



2羽とも、片足立ち



同時に飛び立った。尾羽がきれいでした。